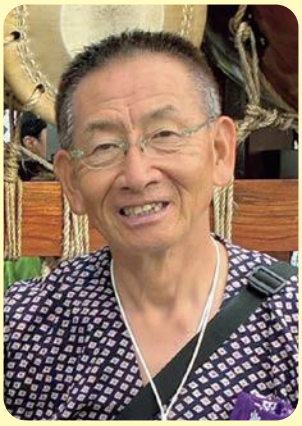
聲（こえ） 私のいいたいこと





大橋　三喜雄さん
（祖母井）

無人タクシーの実証実験を芳賀町で始めよう！

普段は車利用で問題はないのですが、飲み会など車以外で出かける時は不便を感じています。LRTは便利ですが、路線（大動脈）は芳賀工業団地の一部までであり、そこから先の町全体をカバーする交通手段（血管）が不足しています。昼間はオンデマンド交通があり重宝していますが、路線バスがなくなった今、夜間の交通手段がないです。先日も夜10時に宇都宮駅で管理センター駅待ちのタクシー予約をしようとしたら断られました。これで管理センターから祖母井までの夜道の1時間散歩が確定です。今アメリカではハンドルやペダルがない完全無人タクシーが実用化され始めました。もうこの無人タクシー導入前提の実証実験を芳賀町で始めるしかないですね。これは相当チャレンジングですが、是非議会の中で議論して実現させていただきたいと思います。

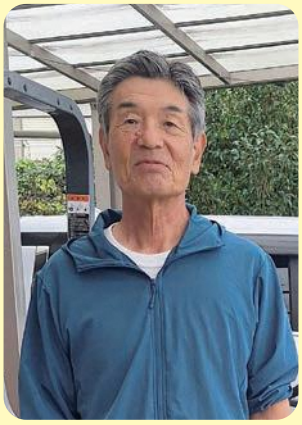


島田　季延さん
（芳志戸）

農道に歩道整備を

私は、芳志戸で米農家を代々営んでおります。幼い頃から両親と一緒に田んぼの仕事を手伝ったり、泥んこ遊びをしたり楽しみながら米つくりを学ぶ機会があった事は、大切な思い出です。区画整理で道路が整備された事で作業効率が上がり、車の運転がしやすい快適さもありますが、歩道が少なく農作業中に車道と田んぼが近いため、通行量の多い道路沿いでの作業では危険を感じることが多々あります。また、作業を行うため車両を駐車しておくスペースも狭く車道に出ているため、安全面で不安があり、子どもたちを田んぼに連れていくことは難しい状況です。農業は、家業であり、家族の思いでの場であり、食べ物の大切さを学ぶ場であったので子どもたちにも経験させたいと考えております。

歩道などが整備され、子どもたちから高齢者まで安全・安心に農作業ができる環境づくりに期待します。



水沼　澄夫さん
（東高橋）

入江公民館文化交流について

地域での行事や交流が減少傾向にあります。触れ合い活動を復活し継承したいと、地域公民館である入江公民館が11年前に新築したのを機会に、月に1回清掃と交流会を実施しています。降雪やコロナ騒ぎで中止もありましたが、館の内外の清掃を30分程度行ってから、町の出前講座、地域担当警察官による防犯講話、名所旧跡巡り・カルビー工場見学、かき氷会食、まんじゅう作り、こんにゃく作り、正月飾り作り、手打ちそば会食、ビンゴゲーム、ペタンク、振り返りと計画などの活動をしてきました。30軒程度ですが、平均毎回13名程度、夏休みには小学生の参加もあります。学びや体験を共にし親睦を深め、より楽しみ合える関係ができていると感じます。

町に各学習機会の設定があり、町職員の講話や参加、また、地域公民館長連絡協議会の支援に感謝してます。